

2026年度(令和8年度)学校評価自己評価表

芦田中学校区	校番 40	福山市立有磨小学校
最終更新日	2026年(令和8年)4月1日	

I 福山市

めざす姿	すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価に係る写真資料などをもとに、学校の取組や近況を具体的に説明した。 ・各学校教育目標の実現に向けた取組に対する評価を行った。 ・行事の開催や取組の仕方について、保護者・地域住民の方々と連携を図った。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた状況と温かい雰囲気の中で、生き生きと活動している。 ・基礎学力は概ね定着しており、学習に対する意欲は高い。また、協働的に課題を解決しようとする意欲も見られる。 ・友だちの意見から自分の考えを深めることはできるが、表現することには課題がある。 	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざすこども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決能力、対話力、思いやる力</p> <p>ふるさと芦田に愛着と誇りをもち、未来を切り拓き、たくましく生きる児童生徒</p> <p>「児童生徒主体の学び」の創造 ○取組推進のための校区全体研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを深め、表現する授業づくり(主体的・対話的・深い学び) ・考え、議論する道徳の授業づくり(理論研修・教材分析・授業研究会) ・学力・生徒指導・体力向上(調査結果の分析・改善策の検討・取組実施)
---	---	--	---

III 自校

<p>学校教育目標</p> <p>豊かな心をもち、主体的に生きる 有磨っ子を育てる</p> <p>「よく聴き 進んで学ぶ子」「なかよく助け合う子」「最後までやりぬく子」</p>
--

<p>現状</p> <p><児童生徒> 本校の児童は、決められたことについてはまじめに取り組み、集団として規律ある行動をとることができる。全国学力学習状況調査や標準学力調査、CRT検査等の調査は、県及び全国平均を上回る通過率で、基礎的学力はおおむね定着している。一方で、新しいことや経験のないことに挑戦することには躊躇する傾向があり、進んで学びを深めることには課題が見られる。</p> <p><授業> 単元を通して身につけさせたい力は何か、そのために授業で児童に何を教え、何を考えさせるのかを中心に教材研究を進めてきている。また、授業の振り返りに重点を置き、その時間に分かったことや次に学びたいことを書かせている。一定の成果が得られた一方で、以下のような課題も明らかになった。 ○児童自身が成長を実感し、主体的に学ぶ姿へつなぐ「学びの自覚化」が不十分である。 ○まだ教師主導型で授業が進められるところが見られる。</p>
--

育成する資質・能力	課題発見・解決能力	対話力	思いやる力	
めざすこども像	小1・2	課題に対してあきらめずに取り組み、類似点・相違点を見つけたり、理由付けをしたりしながら表現している。	自分の考えをはっきりと、最後まで伝えている。	学校や地域の人に自分から声をかけている。身近な人に温かい心で接し、親切にしている。
	小3・4	課題に対して見通しをもち、他の考えと比較したり、それを基に新たな発見をしたりしながら解決している。	友だちの考えとつなげたり、比較したりしながら話している。	学校や地域の人と自分から関わろうとしている。相手の気持ちを考え、進んで親切にしている
	小5・6 中1	自ら課題を見つけ、複数の情報を基に、類推したり、深化させたりするなど、工夫しながら解決している。	話し手の意図を考えながら聞いたり、相手の意見を受けて自分の考えを話したりしている。	学校や地域をよりよくするために行動している。相手の立場に立ち、誰に対しても親切にしている。
	中2・3	自らの考えをもち、既習事項、収集した情報や生活体験などを根拠にして、比較、分類、関連付けて物事を考え、解決している。	多様な他者との意見の違いを認め、思考・判断したことをわかりやすく表現したり、議論したりしている。	地域や社会との関わり合いを通して、人としての思いやり、周りへの感謝の心をもち、その気持ちを行動や言葉に表している。

研究	テーマ	<p>自ら考え、伝え合いながら学びに向かう児童の育成</p> <p><仮説>つけたい力を明確にするとともに、児童自身に学びの振り返りを適切にさせることができれば、主体的に学習に取り組むであろう。</p>
	内容等	<p>○児童の「言葉」と「気づき」でつなぐ授業の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決する必然性のある教材や課題に合わせ、見通しをもって学ぶことができる授業 ・次時へ活きる振り返りの充実
めざす授業の姿		<ul style="list-style-type: none"> ・育成すべき資質能力を明確にした適切な「ねらい」のある授業 ・評価規準が「ねらい」と整合している授業 ・「めあて、課題、まとめ、振り返り」を適切に位置づけている授業 ・児童に考えさせる時間が学習活動に位置づいている授業 ・個に応じた指導の工夫、特別な配慮を必要とする児童への指導の工夫がされている授業

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
6	こども主体の学びの実現	★	継続	・「子どもの主体の学びの実現」を意識した授業づくり・授業実践を通して、確かな学力の定着を図る。	・児童の言葉や気づきでつなぐ授業づくり ・自己の学習状況を認識できる振り返りの充実	・国算期末テスト80点以上の児童80%以上 ・学カテストにおいて学級平均値が学カテストの目標平均値以上								
6	児童の自己肯定感の向上		継続	・自他のよいところを認め、優しく強く助け合う児童の育成を図る。	・教育相談体制の充実(組織的な生徒指導体制の確立) ・全教職員による児童一人一人の情報共有	・児童アンケートによる「自分にはよいところがある」と回答する児童85%以上								
5	児童の健やかな心と体の育成		継続	・自分の健康や体のことを意識して生活する児童の育成を図る。	・体を動かす運動や遊びの紹介、実施 ・日常的な学級指導に加え、時宜を得た養護教諭等による保健指導	・児童アンケート「体を動かすことが楽しい」児童80%以上 ・メディアコントロール週間で平日のメディア視聴時間1時間以内80%以上								
5	安全で安心できる学校づくり		継続	・児童と保護者が安心、安全な学校生活を実感できる環境をつくる。	・保護者への丁寧な対応と連携、地域人材等の効果的な活用 ・積極的な学校情報の発信	・保護者アンケート学校教育に関する項目の肯定的評価90%以上 ・学校便り、校内掲示、HPによる情報更新 毎月100%								
5	教職員がやりがいを感じる学校づくり		継続	・教職員の心と体の健康が児童の生き生きとした学びにつながるような学校運営を行う。	・定時退校日の設定、日々の退校時刻の明示 ・組織的教育活動の推進と教職員の研修運営の主体化、教材研究のための時間確保	・時間外勤務月45時間以内の教職員の割合100% ・「仕事にやりがいを感じている」と回答する教職員100%								

[プロセス評価の評価基準]

[達成評価の評価基準]

[総合評価の評価基準]

評価点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

評価点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

評価点	評価基準	評価基準
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。